

平成27年度教育課程

小中一貫校松梅校

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

ふるさと松梅を担う心身共に調和のとれた子どもの育成

学校スローガン 「小さな学校 大きな未来」

- | | |
|----------|-------------------------------------|
| □めざす学校像 | ○ 生き生きと学ぶ、創意豊かな学校 |
| | ○ 自信と誇りを育み、活気あふれる学校 |
| | ○ 地域に根ざし、地域とともに歩む学校 |
| □めざす子ども像 | ○ 自ら学び、積極的に考えを発表できる子 |
| | ○ 郷土を愛する心、人を思いやる心を持つ子 |
| | ○ 健康で安全な生活習慣を身につけた子 |
| □めざす教師像 | ○ 9年間の連続した「学び」と「育ち」の教育実践に積極的に取り組む教師 |
| | ○ 日々の研修を深め、自らの「授業力」向上に努める教師 |
| | ○ 保護者・地域と連携し、教育活動の質の向上に努める教師 |

(2) 目標を達成するための基本方針

- 1 小中一貫教育の一層の充実を図り、「小中の連続した授業設計」の実践により、自ら学び、積極的に考えを発表できる児童・生徒の育成を図る。また、小中職員の合同研修会や授業交流を通し、教師の授業力向上を目指す。
- 2 小中合同の体験活動や行事、道徳の授業等を通し、豊かな人間性を育成する。
- 3 食育、安全教育、体育の指導の充実を図り、健康で安全な生活ができる能力を育成する。
- 4 学校運営協議会での決議を学校運営に反映させ、教育活動の質の向上を図る。
- 5 学校情報を積極的に発信し、育友会、地域との連携を深め、信頼される開かれた学校づくりを推進する。

2 本校の教育の特色

- 1 確かな学びと豊かな心の育成
 - 小中共通の研究テーマに基づく授業実践
 - 9年間を見通したカリキュラムの実践化
 - 学習指導、生徒指導の「学び」と「育ち」をつなぐ教育の充実
 - 少人数指導を生かした一人一人の児童・生徒の個性・能力の伸長
- 2 開かれた学校づくりの推進
 - 教育目標や教育活動理解のため、地域・保護者に向けた学校だよりの発行
 - フリー参観デー等による小中一貫教育の公開
 - 地域・育友会との合同行事の充実
 - 学校評価及び学校関係者評価の活用
 - ホームページによる情報公開
 - 学校運営協議会の決議を反映した学校運営
- 3 豊かな心を育む体験活動の推進
 - 松梅校区体育祭
 - 農業体験活動（芋苗植え、芋ほり）

- 柿むき大会・餅つき大会
- 文化発表会
- 交通安全教室
- 避難訓練、防犯訓練
- 読み聞かせ
- あいさつ運動
- ボランティア活動
- 百人一首大会

3 教育計画

本年度の教育の重点

- 1 基礎学力の定着と自ら学ぶ意欲・態度の育成
 - 少人数学級のメリットを生かし、一人一人の児童・生徒の意見・考えを基盤とした授業展開に取り組む。
 - 「学び合い」を授業展開に位置づけ、自分の考えを相手に伝える力の育成を図る。
 - 全国・佐賀県学力状況調査の結果を小中合同で分析し、学力の向上と教職員の資質向上に取り組む。
 - 小中合同の校内研修を充実し、日々の授業改善と授業公開を行い、職員の授業力の向上を図る。
 - ICT利活用（電子黒板・タブレットPC等）教育の推進を図り、学力向上を目指した授業に取り組む。
 - 9年間の見通しを持って、一人一人の児童・生徒に適した進路指導の充実を図る。
 - 9年間の「学び」と「育ち」をつなぐ学級経営案及び教科経営案の作成。
- 2 豊かな心の育成
 - 児童会・生徒会の主体的な体験活動や行事の充実を図り、社会性や思いやりの心を育成する。
 - 道徳の授業・ふれあい集会等を通し、豊かな人間性を育成する。
 - Q-Uテストを実施し、結果分析及び指導方改善により、良好な人間関係の構築と「いじめ」のない学級づくりに努める。
- 3 健康で安全な生活ができる能力の育成
 - 健康で安全な生活を送るための意識向上を目指し、防煙教室や薬物乱用防止教室、小中合同の交通安全教室や防災訓練・防災教育等を実施する。
 - 体育、部活動を通して、健康な体づくりの意識向上を図る。また、教育相談・食育・性教育の充実を図る。
- 4 特別支援教育の充実
 - 特別支援教育の視点を重要視した積極的な生徒指導を確立し、小中の育ちをつなぐ生徒指導を推進する。また、ユニバーサルデザインの視点に立った支援を行う。
 - 個人の支援計画に基づいた指導を推進する。
 - 市教育委員会、関係保護者、関係機関との連携を強化し、支援体制の充実を図る。
 - 特別支援コーディネーターを中心として、保護者、地域の方への啓発活動を推進する。